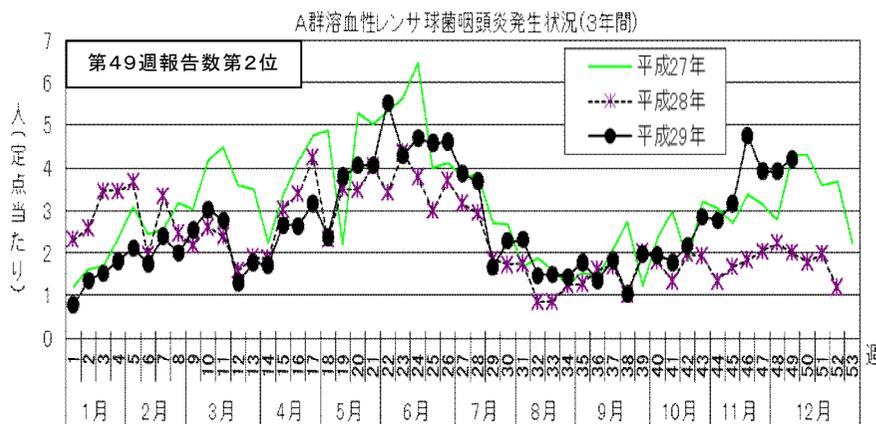
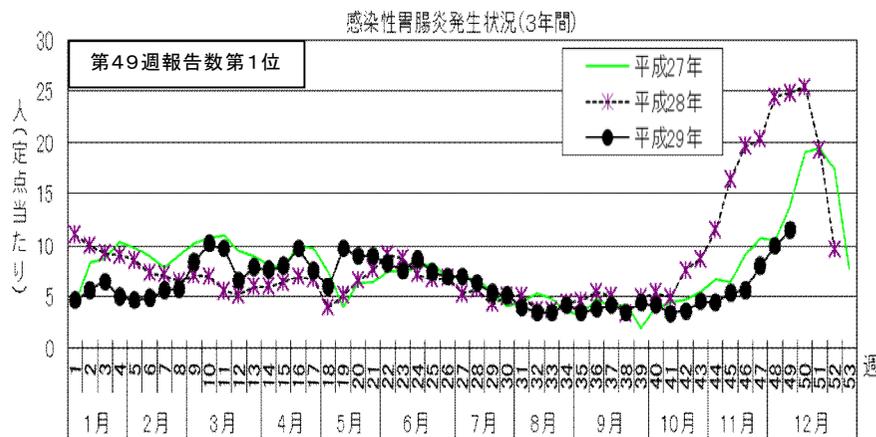


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年12月4日（月）～平成29年12月10日（日）〔平成29年第49週〕の感染症発生状況

第49週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) インフルエンザでした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は11.49人と前週（9.92人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.22人と前週（3.92人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.18人と前週（2.92人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



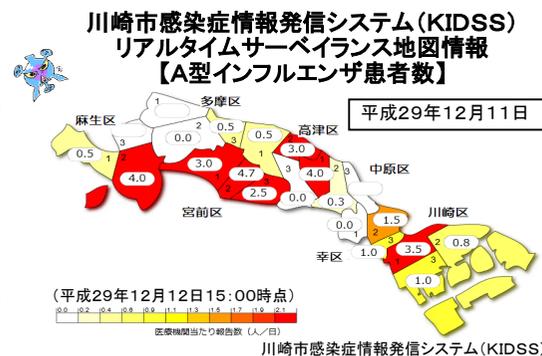
## 冬に流行する感染症！～インフルエンザと感染性胃腸炎～

現在、市内ではインフルエンザや感染性胃腸炎の患者報告数が増加しています。感染症にかからない、拡げないために、手洗い等の予防対策を心掛けましょう。

### インフルエンザ

平成29年第49週（12月4日～10日）の定点当たり報告数は4.18人と前週から増加し、特に川崎区、高津区、宮前区で多くなっています。また、本市のリアルタイムサーベイランスによると、現在、A型インフルエンザの報告数が各区で増加しています。

今後、年末にかけて患者数が増える可能性があります。



### 感染性胃腸炎

平成29年第49週の定点当たり報告数は11.49人と前週から増加し、特に高津区では定点当たり報告数が24.17人と流行発生警報基準値（定点当たり20.00人）を超えています。

また、健康安全研究所に搬入される検体からは、昨年多く検出された遺伝子型G II. 4型というノロウイルスが今年も検出されています。

